

第2章

基本機能を使う

高機能地図ソフト『スーパーマップル・デジタル10』は、もちろん基本機能にぬかりはありません。本章では、地図の表示形式や縮尺を変更したり、目的の場所を探して表示する、といっ

た基礎的な操作の手順について解説するほか、目的地周辺の情報の探し方や地図の印刷方法についても詳しく説明します。

2-1 地図のスタイルを変更する	40
2-2 地図上の情報をWikipediaで検索する ..	46
2-3 地図の場所を移動させる	47
2-4 地図の縮尺を変更する	52
2-5 目的の場所を探す	54
2-6 目的地周辺の情報を探す	67
2-7 地図を印刷する	72



2-1

地図のスタイルを変更する

地図スタイルとは、特定の表示が強調されたり、文字が拡大されたり、背景色が変わったりする地図の表示形式のことです。さまざまな地図スタイルを使い分けることにより、必要な情報の

強調、不要な情報の削除など、より実用的な地図表示を選択できます。あらかじめいくつかのスタイルが用意されているほか、自分で作成することもできるのでチャレンジしてみましょう。



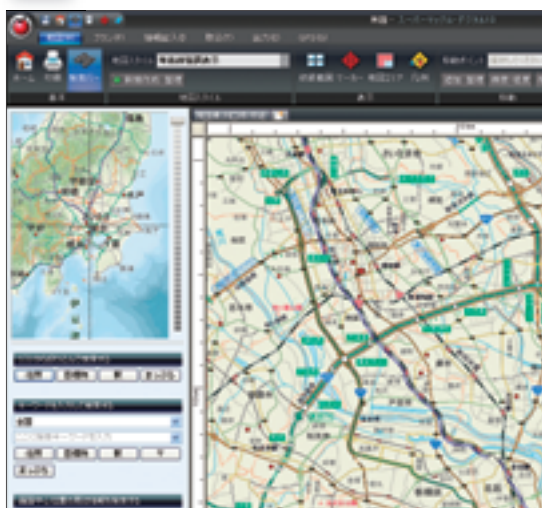
地図スタイルを切り替える

1 地図スタイルグループで種類を選択する



「地図スタイル」グループにある「地図スタイル」プルダウンリストを開き、用意されたスタイルから目的のものを選択します。各スタイルの内容は、P.44からの地図スタイル一覧を参考に、状況に応じて使い分けるとよいでしょう。

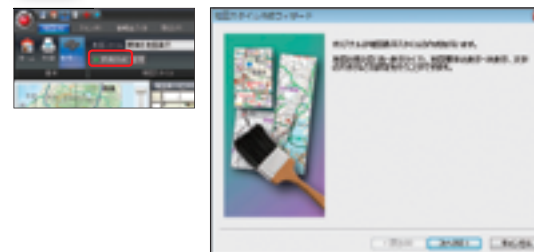
2 選択した地図スタイルが適用される



プルダウンリストからスタイルを選択すると、現在表示されている地図にそのまま適用されます。別のスタイルに変更したいときは、再度プルダウンリストを開き、同じ手順を行なうことで何度でも切り替えが可能です。

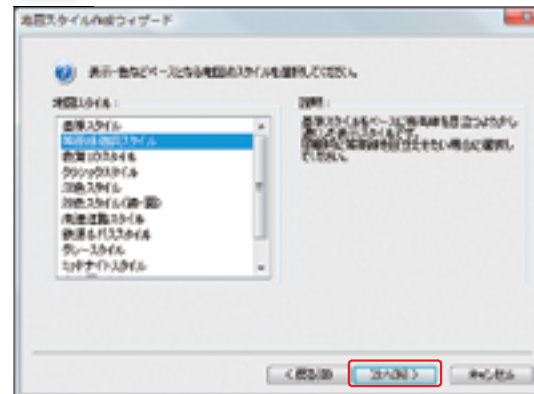
地図スタイルを作成する

1 「地図スタイル」グループの「新規作成」をクリックする



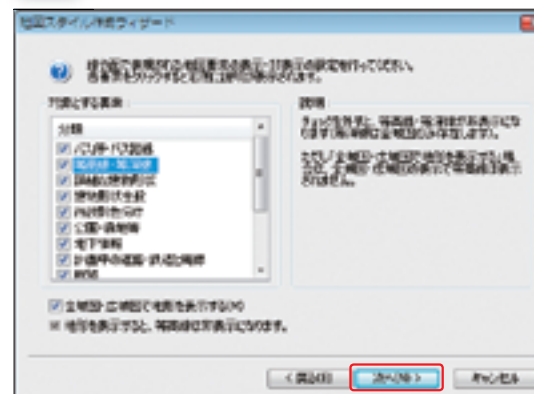
地図スタイルは最初からいくつか用意されていますが、より自分のニーズに合ったスタイルを作成し、登録することもできます。まず、「地図スタイル」グループの「新規作成」をクリックし、地図スタイル作成ウィザードを表示します。

2 ベースとなるスタイルを選択する



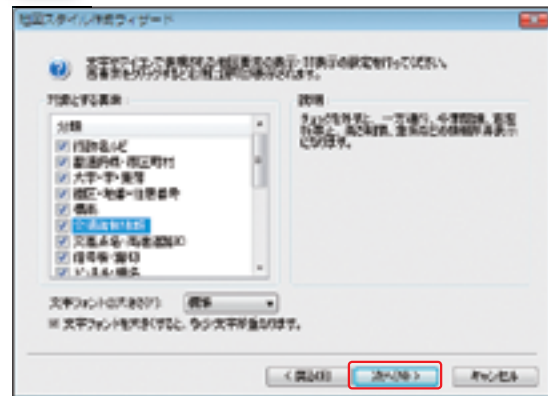
一からスタイルを作成するとなると大変ですが、スーパーマップル・デジタル10では表示や色などベースとなる地図スタイルを選択することで、簡単に新しいスタイルを作成することができます。ベース選択画面で各スタイルをクリックすると、画面右側に説明文が表示されるので確認しておきましょう。

3 地図要素の表示・非表示①を設定する



道路情報や鉄道情報、建物形状、地下情報などは、地図上では線や面で表現されます。ベースのスタイルを決めたあとは、それらの地図要素を表示するかしないか、項目ごとに設定することになります。画面右側の説明文をよく読み、必要だと思う項目にチェックを入れていきましょう。

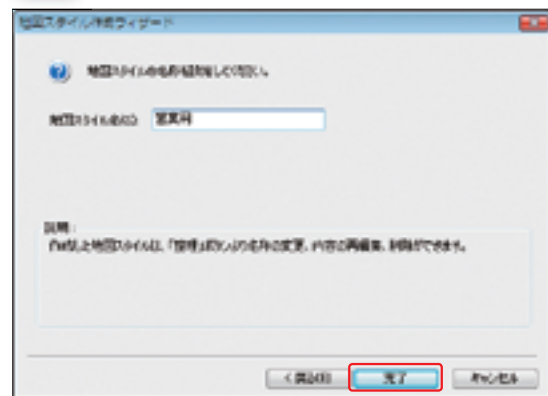
4 地図要素の表示・非表示②を設定する



次に、文字やアイコンで表現される地図要素の表示・非表示を設定します。都道府県・市区町村、交差点、観光情報などが該当します。STEP3と同じく、画面右側の説明文を確認しながら、採用する項目にチェックを入れましょう。また、ここでは文字フォントの大きさを5パターンから選択することができます。ディスプレイの環境に合わせて変更してください。

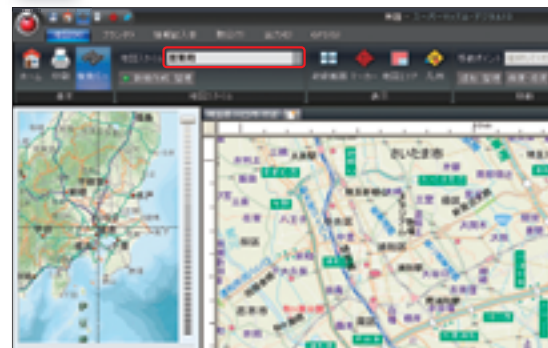
Windows Vistaで地図上の文字が小さく表示される場合は、文字フォントを「大きめ」もしくは「かなり大きめ」に設定するといいでしょ。

5 地図スタイルの名称を入力する



すべての設定が完了したら、最後に地図スタイルの名称を決定します。通常表示される全角24文字以内に収まるよう、目的に応じた分かりやすい名称を入力しましょう。

6 表示されたスタイルを確認する



名称を入力して「完了」をクリックすると、作成したスタイルが現在の地図表示に適用されます。以後、地図スタイルのプルダウンメニューにも加わるので、ほかのスタイルとの切り替えを簡単に行なうことができます。

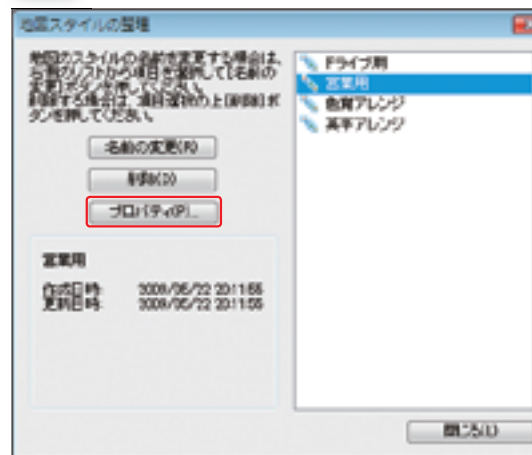
地図スタイルの設定を変更する

1 [地図スタイル]グループの「整理」をクリックする



作成した[地図スタイル]の設定を修正したいときは、[地図スタイル]グループの「整理」から実行できます。ちょっとした修正なら、わざわざ新しいスタイルを作成するより、既存のスタイルの設定を直すほうが便利です。

2 変更するスタイルを選択して「プロパティ」をクリックする



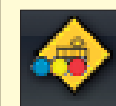
地図スタイルの整理ダイアログボックスが表示されたら、目的のスタイルを選択して「プロパティ」をクリックします。地図スタイル作成ウィザードが表示されるので、P.41・STEP1からの手順を繰り返しましょう。また、地図スタイルの整理ダイアログボックスでは、名称だけの変更や不要になったスタイルの削除を行なうこともできます。



Point

線や記号の意味を確認しよう

地図スタイルを編集する場合、地図上に表示された線や記号の意味を確認できる「地図の凡例」を参考にすると便利です。地図の凡例は、リボンの[地図]タブ→[表示]グループにある「凡例」ボタンをクリックすると表示されます。



「凡例」ボタン



初期登録済みの地図スタイル一覧

地図スタイルのプルダウンリストで選択できる、初期登録済みのスタイルを紹介します。「標準の地図表示」を基本に、用途や環境に応じて使い分けるといいでしょう。地図スタ

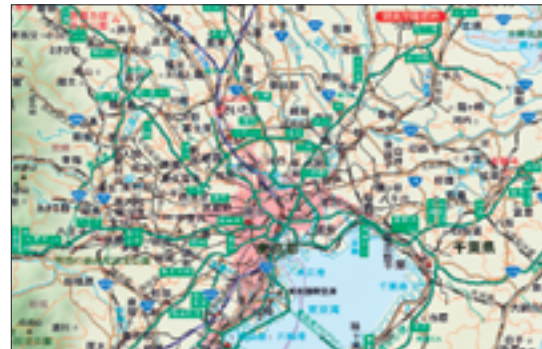
イルにより表示される要素・情報が異なるので、お好みのスタイルを選んで利用しましょう。

■標準の地図表示



スーパーマップル・デジタル10における通常の表示です。

■でっか字表示



基本表示をベースに文字やアイコンを大きく表示したものです。

■地形表現なし表示



全・広域図で地形表現のない表示です。

■色覚UD表示



色弱者が、文字や道路・鉄道などと背景を判別しやすいようにした表示です。

■淡色表示



線や面要素を淡い色で表現したスタイルです。

■鉄道バス強調表示



鉄道やバス情報を強調した表示です。そのほかの要素は薄く表示されます。

■高速道路強調表示



高速道路を強調した表示です。高速道路以外の要素は薄く表示されます。

■ミッドナイト表示



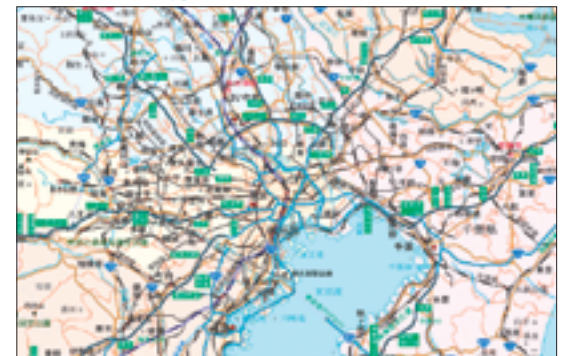
深夜をイメージした色使いのスタイルです。

■白地図表示



行政名以外の文字やアイコンを非表示にしたモノクロのスタイルです。

■クラシック表示



以前のSuper Mapple Digitalの標準表示です。

その他のスタイル

■等高線強調表示	印刷時に等高線がくっきり表示されるようにしたスタイルです。
■グレー表示	グレー色で表示されるスタイルです。
■白図表示	行政名・界線及び等高線をモノクロで表示したスタイルです。

2-2

地図上の情報をWikipediaで検索する



地図上に表示される地名や目標物名などの文字列は、文字列を右クリックするだけで、関連する情報をインターネットのフリー百科事典サイト「Wikipedia」で検索することができます。

「Wikipedia」はあらゆるデータを網羅し、世界中で人気を博している情報の宝庫です。「Wikipedia」での検索を利用すれば、欲しい情報を必ず探し出すことができます。

1 文字列を右クリックする



「〇〇区」などの地名や、「〇〇駅」「〇〇ビル」などの目標物名にマウスカーソルを合わせて右クリックします。メニューが表示されたら「(対象の文字列)をWikipediaで検索」を選択してクリックします。このとき、インターネットに接続していることを確認しておきましょう。

2 Webブラウザで「Wikipedia」が開く



「Internet Explorer」など普段使用しているWebブラウザが起動し、「Wikipedia」の該当ページが表示されます。ページ内を隅々まで閲覧して、必要な情報を手に入れましょう。

2-3

地図の場所を移動させる



このセクションでは、地図の場所を移動するための基本操作を解説します。索引図と地図ウィンドウを利用すれば、マウスドラッグだけで目的の場所を絞り込むことができます。また、リボ

ンの「地図」タブを選択しておけば、ホームポジションや移動ポイントの設定により、よく利用する場所を簡単に表示させることもできます。

索引図を利用して移動する

索引図とは、地図ウィンドウに表示される地図の位置をおおまかに確認する、検索バー上部に表示された地図のことです。索引図を利用すると、距離の離れた場所の地図を素早く表示することができます。地図を移動させるにはキー

ワードやリストを利用する方法もありますが、索引図を利用することが基本の移動方法となるので、しっかり操作をマスターしておきましょう。

1 索引図を目的の地域までドラッグする



大まかな地域を絞り込むために使用する「索引図」をドラッグして、目的の場所がある地域を画面に表示させます。索引図の右側にあるズームバーをクリック/スライダをドラッグすることによって、縮尺を切り替えることができます。全国から地域を探すときは、索引図を縮小すると探しやすいでしょう。



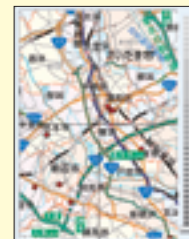
Point

索引図も5段階に拡大・縮小できる

拡大した(スライダを下に移動させた)ときは地形表現を外し、細かく位置を確認する際に便利なように行政単位の色分けによる表示となります。

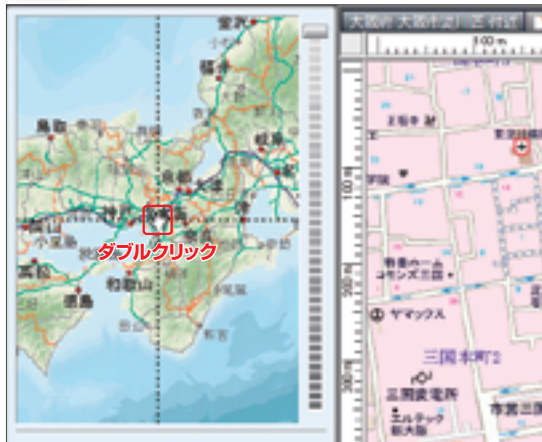


縮小



拡大

2 目的の地域をダブルクリックする



索引図上に目的の地域が表示されたらダブルクリックします。すると、その地点周辺の地図が地図ウィンドウに表示されます。

地図ウィンドウの上にある地図切替タブの「新規タブ」ボタンを選択すると、現在選択中の地図タブの右にタブが新規作成され、現在の地図中心の住所がタブ名として設定されます。これにより、特定の地図位置を保持したまま、異なる位置の別の地図を表示できます。

3 地図をドラッグして目的の場所を表示する

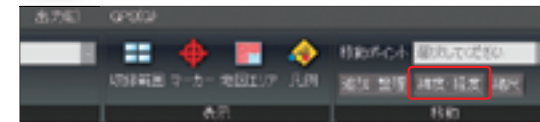


地図ウィンドウに表示された地図も、ドラッグにより自由に動かすことができます。最初の地図表示では大体のエリアが分かるだけなので、そこからさらに目的の場所を絞り込んでいきましょう。また、地図上の特定の場所をダブルクリックすると、その場所を中心とした地図に切り替わります。



緯度・経度から指定する

1 緯度経度ダイアログボックスに数値を入力する



リボンの「地図」タブ→「移動」グループの「緯度・経度」をクリックし、緯度経度ダイアログボックスを表示させます。「度分秒単位」にチェックを入れ、「東経」と「北緯」の数値を入力しましょう。入力が完了したら「移動」をクリックします。「ミリ秒単位」にチェックを入れた場合は、「ミリ秒 = (度×3600+分×60+秒) × 1000」の計算式で変換されます。



2 指定した場所がマーカーで表示される



緯度経度ダイアログボックスで「移動」をクリックすると、指定した場所を中心とした地図が表示されます。指定した場所は分かりやすくマーカーで表示されますが、[表示]グループの「マーカー」をクリックすることで、表示・非表示を切り替えることができます。



Point

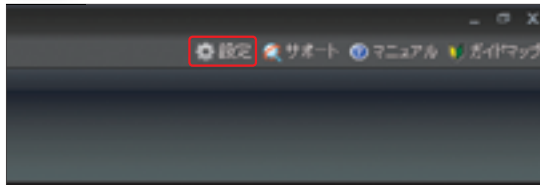
日本測地系と世界測地系に注意

緯度・経度を指定したのに位置がずれるという場合は、測地系が異なる可能性があります。測地系が異なると同じ数値でもまったく異なる位置を示します。その場合はステー

タスバーの測地系を確認し、設定メニュー（P.38参照）で測地系を変更してみてください。

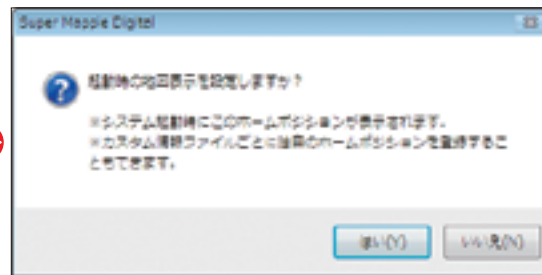
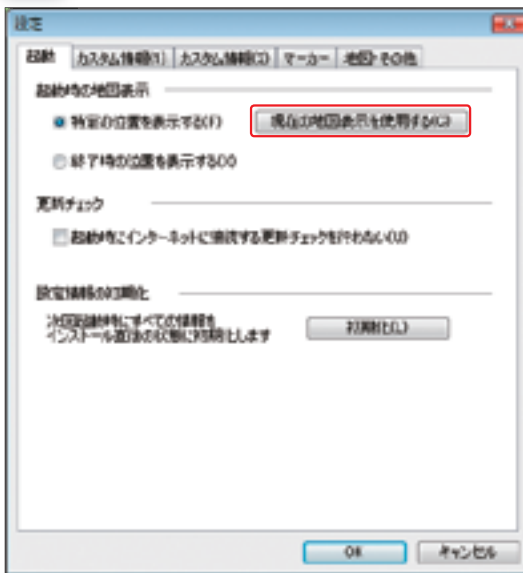
ホームポジションに設定する

1 クイックアクセスバーの「設定」をクリックする




スーパーマッブル・デジタルの起動時、最初に表示される地図を「ホームポジション」と呼びます。自宅や勤務先などの場所を、つねに起点となるようにホームポジションに設定しておくとう便利です。設定手順としては、まず目的の場所の地図を表示し、クイックアクセスバーの【設定】をクリックします。

2 起動設定を変更する



設定ダイアログボックスが表示されたら、【起動】タブを選択します。そして「特定の位置を表示する」にチェックを入れたら、「現在の地図表示を使用する」をクリックしましょう。その後【OK】をクリックすればホームポジション


設定は完了です。以後、スーパーマッブル・デジタルの起動時に、現在の地図が表示されるようになります。作業中に地図をホームポジションに戻したい場合は、リボンメニューにある【ホーム】ボタンをクリックします。



Point

カスタム情報ファイルごとにホームポジションを登録

操作に慣れてきたら、カスタム情報ファイルから直接起動することが多くなるでしょう。起動時の表示位置となるホームポジションは、各カスタム情報ファイルごとに登録できます。その場合は目的のカスタム情報ファイルを開き、リボンの【情報

記入】タブ→【ホーム】グループ→【ホーム登録】ボタンを選択後、登録完了のダイアログが表示されたら【OK】をクリックしましょう。こうして登録したホームポジションは、登録を行なったカスタム情報ファイルに対してのみ有効です。

移動ポイントを利用する

1 【移動】グループの「追加」をクリックする



目的の場所を移動ポイントに登録すれば、いつでも一発で呼び出すことができます。頻繁に表示させる場所の地図は登録しておくことで操作が快適になります。登録するときは、目的の場所の地図を表示中に、リボンの【地図】タブ→【移動】グループの【追加】をクリックします。

2 移動ポイントの名前を入力する



移動ポイントの名前を入力して【OK】をクリックすれば登録完了です。自分の覚えやすい名前にするとう便利です。基本的に全角16文字までしか表示できません。簡潔な名前に設定するとういいでしょう。

3 【移動】グループの「移動ポイント」から目的地を選択する



【移動】グループにある「移動ポイント」のプルダウンメニューから登録した移動ポイントを選択すれば、その地点の地図が表示されます。また、移動ポイントはあらかじめ7種類の主要地点が登録されています。



Point

旧バージョンの移動ポイントを利用

旧バージョンで登録した移動ポイントは、以下の手順を行なうことで、本バージョンでも継続して利用することができます。旧バージョンの「C:\Program Files\Super Mapple Digital Ver.9\Favorites\」フォルダ（インストール先を変更していない場合。※9はバージョン番号）の中の*.rcl ファイルを「C:\Program Files\Super Mapple Digital Ver.10\Favorites\」フォルダ（インストール先を変更していない場合）へ移動させることで次回起動時から利用できるようになります。

2-4

地図の縮尺を変更する

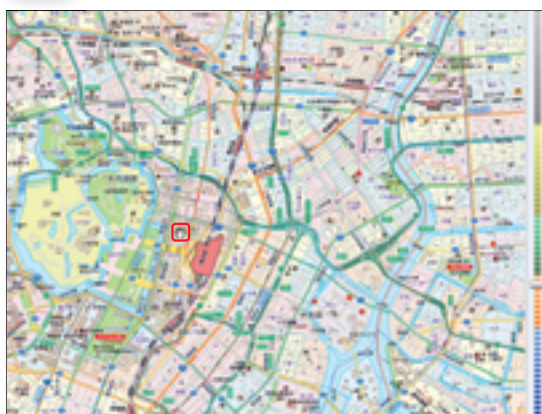
地図の縮尺は閲覧の目的に応じて、最大1000分の1から最小500万分の1まで拡大・縮小することができます。縮尺別に線の太さや文字の大きさ、表示の有無などがそれぞれ細かく設定

され、どの縮尺でも美しく地図表示されます。縮尺の変更はマウスのホイールやキーボードで感覚的に操作できるほか、画面のズームボタンを利用しての調整も可能です。



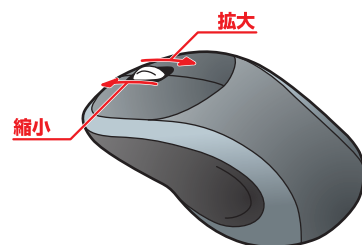
マウスを使って縮尺を変更する

1 地図上にマウスポインタを移動する



縮尺を変更したい地図が表示されたら、地図上にマウスのカーソルを移動させ、マウスポインタを表示させます。このとき、特定の場所にマウスポインタを合わせる必要はなく、地図上ならどこでも構いません。

2 マウスのホイールを回転



マウスポインタ表示中にマウスホイールを手前に回転させると地図が拡大、奥側に回転させると地図が縮小します。マウスホイールの回転方向は設定 (P.38参照) の「地図・その他」→「マウスホイールの地図拡縮方向を逆転する」で変更することもできます。なお、マウスホイールでの縮尺の変化量は設定メニューで調整できます (P.53参照)。

3 地図の縮尺が変更



目的の場所の周辺を確認するときは、このように拡大表示すればとても見やすくなります。ステータスバーに縮尺が表示されるので、目的の縮尺になっていない場合は再度調整しましょう。

ズームバーを使って縮尺を変更する



ズームバーのスライダを操作することで直接、縮尺を調整することもできます。スライダを下に移動させると拡大表示、上に移動させると縮小表示となります。また、ズームバーの下部には5種類の標準縮尺ボタンが用意されています。このボタンをクリックすると、各ボタンに割り当てられた縮尺で地図が表示されます。ボタンにマウスカーソルを合わせると対応した縮尺が表示されます。



Point

5種類の標準縮尺ボタンを使い分けよう

用意されている標準縮尺ボタンは、右で紹介する5種類です。各ボタンの縮尺率を覚え、状況に合わせて使い分けていきましょう。



Point

マウス以外にキーボードも利用可能

キーボードから直接縮尺を変更できるのも便利な点です。[PageUp] 縮小が表示、[PageDown] が拡大表示に対応しており、キーを押す長さのぶんだけ、拡大・縮小されることになります。目的の縮尺になるまで対応するキーを押し続

けましょう。なお、設定 (P.38参照) の「地図・その他」→「PgUp,Dnキー/ホイール時の変化量」でキーボードおよびマウスホイール操作時の縮尺変化量を変更できます。

2-5

目的の場所を探す

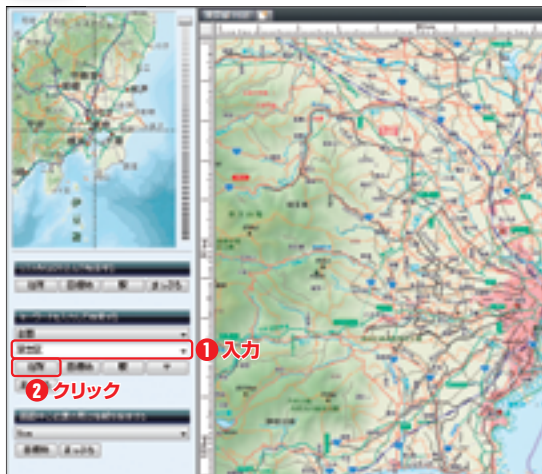
目的の場所の地図を探すときは、地域や施設をダイレクトに選択することで、より素早く表示させることができます。画面左の検索バーからリスト検索やキーワード検索を利用すれば、住所

や目標物、駅、郵便番号、「MAPPLE観光ガイド」などの情報を手がかりに検索できるので活用しましょう。検索手順で別ウィンドウが開かず、同一画面上で探せるのも便利です。



住所をキーワードにして検索する

1 キーワードを入力する



検索バーのキーワードボックスにキーワードを入力します。詳細な番地までの検索も可能ですが、ここでは市区町村名を入力することにします。また、京都については「白川筋三条下る」といった通り名でも検索できます。キーワードを入力したら、キーワードボックスの下にある「住所」をクリックします。



Point

より早く住所を検索するには？

キーワードを入力するだけでなく、キーワードボックスの上にあるプルダウンリストから都道府県を指定しておきましょう。都道府県を指定することにより、住所の検索が通常より早く完了します。

2 検索結果から目的の地域を選択する



キーワードに対応した地域が絞り込まれるので、一覧から目的の地域を選択して地図を表示させます。指定した場所にはアイコンが表示されます。



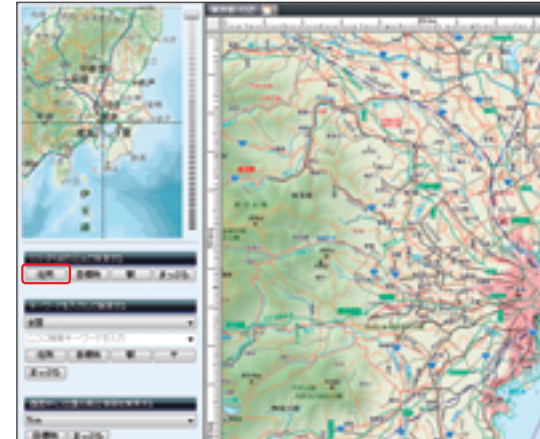
Point

入力したキーワードで検索されない場合は？

住所のキーワード検索で該当しない場合は、キーワードから号や番地を削ってみましょう。その後、再検索するとヒットしやすくなります。

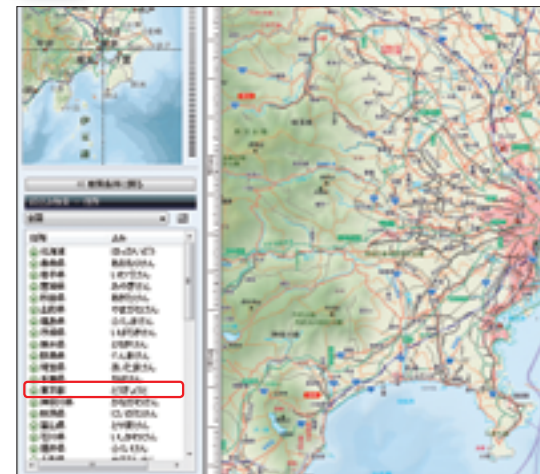
住所リストを利用して検索する

1 検索バーの「住所」をクリックする



検索バーの「リストから絞り込んで検索する」の下には、「住所」「目標物」「駅」「まっぶる」の4種類が並んでいます。ここでは、その中から「住所」を選んでクリックします。

2 都道府県を選択する



次に、目的の場所がある都道府県を選択します。五十音順ではなく、日本地図の北から順に並んでいるので注意しましょう。



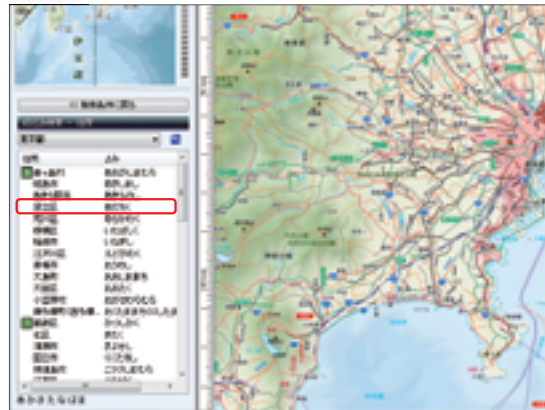
Point

大字なし地区、丁目なし地区って何？

地図には大字や丁目の存在しない地区が混在する場合があります。そのようなケースに対応するため、便宜上「大字なし地区」や「丁目なし地区」の表記がリストに表示される場

合があります。また、小字や集落については収録されていないものもあるため、その場合は大字なし地区→○○番地という検索を行なう形になります。

3 市区町村を選択する



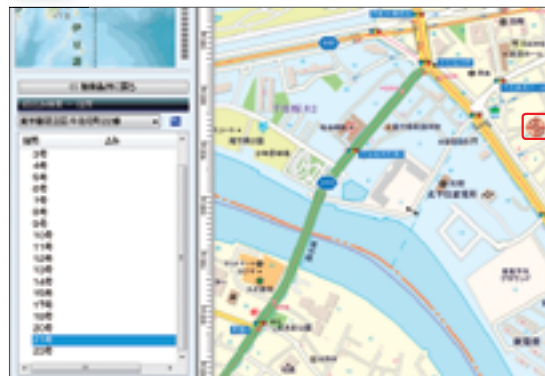
都道府県を選択したら、市区町村が絞り込まれるので該当するものを選択します。

4 町名を選択する



市区町村を選択後、さらに町名一覧が表示されるので、該当するものを選択しましょう。

5 丁番号・番地を選択する



町名を選択すると、次に丁番号選択画面が表示されます。目的の場所に丁番号がない場合は、「丁目なし地区」を選択してください。そして、最後に番地を選択すれば手順は完了です。なお、地域によっては地番（～番地）までのデータが登録されていないため、検索できない場合があります。

目標物をキーワードにして検索する

1 キーワードを入力する



検索バーのキーワードボックスにキーワードを入力します。地域名をキーワードにした場合、その地域名を名称に含む施設が絞り込まれることになります。全国チェーン店などをキーワードにする場合は、あらかじめキーワードボックスの上で都道府県を指定するといいでしょう。キーワードを入力したら、キーワードボックスの下にある「目標物」をクリックします。

2 検索結果から目的の目標物を選択する



キーワードに対応した施設が絞り込まれるので、一覧から目的の施設を選択して地図を表示させます。また、検索結果一覧では施設の小分類・中分類・大分類も確認できます。

ここを左右にドラッグすると、目標物の名称や住所の表示領域を可変できます。最初は一部しか表示されていない場合でも、表示領域を広げることですべてを確認することができます。

目標物リストを利用して検索する

1 検索バーの「目標物」をクリックする



検索バーの「リストから絞り込んで検索する」の下の「目標物」を選んでクリックします。

2 施設の分類を選択する



地域を絞りたいときは、あらかじめ都道府県を指定しましょう。「公共施設」「学校」「レジャー・スポーツ」といった大分類から、該当するものを選択します。大分類を選択後、さらに中分類、小分類を絞り込んでいきます。

3 検索結果から目的の施設を選択する



小分類までの選択を終えたら、該当する施設が一覧表示されます。目的の施設を選択して地図を表示させましょう。また、この段階で都道府県の指定を変更した場合、分類の選択はそのまま適用され、検索結果だけに変更されます。

Point 検索結果が多い場合は

小分類までを選択しても、該当する目標物が多くなりすぎてしまう場合もあります。そのときは、都道府県を選択して絞り込んでみてください。

駅をキーワードにして検索する

1 キーワードを入力する



検索バーのキーワードボックスにキーワードを入力します。正式な駅名を忘れてしまったり、分からなかったりした場合でも、駅名に含まれる一部の言葉を入力すれば検索を利用できます。

キーワードを入力したら、キーワードボックスの下にある「駅」をクリックします。

2 検索結果から目的の駅を選択する



キーワードに対応した駅名が絞り込まれるので、一覧から目的の駅を選択して地図を表示させます。同じ駅名で複数の場所がある場合は、個別に一覧に並ぶことになります。

Point 路線検索をやってみよう

検索バーの一覧にある駅を右クリックして「路線検索」を選択し、出発駅と到着駅を登録します。次に、「路線検索の実行」をクリックし、パソコンにインストールされている路線検索ソフトを選択すると、各ソフトが起動して路線検索結果が表示されます。(路線検索ソフトについてはP.202を参照)



駅リストを利用して検索する

1 検索バーの「駅」をクリックする



検索バーの「リストから絞り込んで検索する」の下の「駅」を選んでクリックします。

2 都道府県を指定して目的の駅を選択する



都道府県を指定すると、その都道府県内にあるすべての駅が五十音順に表示されます。駅名だけでなく路線名もよく確認し、目的の駅を選択しましょう。

Point 路線ソートも可能

検索結果上部の「路線」をクリックすると路線でのソートが行なわれます。通常は五十音順に駅名が並びますが、ソ

ートを行なうと路線別（五十音順）に整理されます。路線から駅を探したいときに使ってみましょう。

郵便番号をキーワードにして検索する

1 キーワードを入力する



検索バーのキーワードボックスにキーワードとなる郵便番号を入力します。前半3桁でも検索できますが、7桁すべてを入力すると、より細かく絞り込めるので便利です。7桁で入力する場合は数字をつなげても、ハイフンで区切っても（〇〇〇-〇〇〇〇）どちらにも対応します。キーワードの番号を入力したら、キーワードボックスの下にある「〒」をクリックします。

2 検索結果から目的の地域を選択する



その数字に対応した地域が絞り込まれるので、一覧から目的の地域を選択して地図を表示させます。

Point 企業郵便番号でも検索可能

スーパーマップル・デジタルでは企業専用の郵便番号についても検索対象となっています。ただし、企業郵便番号で

検索した場合、検索結果の位置はその企業のある大字・丁目の中心位置になります。

まっぷるコードをキーワードにして検索する

1 キーワードのコードを入力する



検索バーのキーワードボックスにキーワードとなるまっぷるコードを入力します（まっぷるコードについては同ページ下を参照）。コードは省略せず、すべてを入力する必要があります。ただし、数字をつなげても、ハイフンで区切っても（○○○○-○○○○）どちらにも対応します。まっぷるコードを入力したら、キーワードボックスの下にある「まっぷる」をクリックします。

2 検索結果から施設を選択する



入力したまっぷるコードに対応した施設が地図上に表示されます。さらに、地図上のりんごアイコンをクリックすると、インターネットを通じてカスタム情報プレビューが表示され、写真・住所などの情報を見ることができます。



Point

「まっぷるコード」を活用しよう

「まっぷるコード」とは、昭文社の出版物（地図やガイドブック）に掲載された、レストランやホテルなどの各施設情報に付けられた7～8桁のコードのことです。携帯電話やインターネットのサービスで入力すれば、スムーズに情報を引き出せ、

スーパーマップル・デジタルでも施設検索に利用できます。また、インターネットを通じてまっぷるコード検索データいつでも最新の状態で更新できます。

MAPPLE観光ガイドの情報をキーワードから取り込む

1 キーワードを入力する



検索バーのキーワードボックスに目標物のキーワードを入力します。入力が完了したら、インターネットへの接続を確認してキーワードボックスの下にある「まっぷる」をクリックします。

2 検索結果から施設名を選択する



キーワードに対応したMAPPLE観光ガイドの施設情報が一覧に表示されます。一覧から目的の施設を選択し、クリックすることで地図を表示させます。



Point

MAPPLE観光ガイドの最新情報を取得

スーパーマップル・デジタルでは、インターネットに接続してMAPPLE観光ガイド（昭文社が提供する観光&旅行情報サイト）から、最新のレジャー情報を取得・表示することができ

ます。目的の場所を探すほかにも、目的地周辺の情報を検索（P.67参照）する場合や、まっぷるダウンロードを利用（P.115）する場合にも役立つサービスです。

3 施設を選択して「ダウンロード」をクリックする



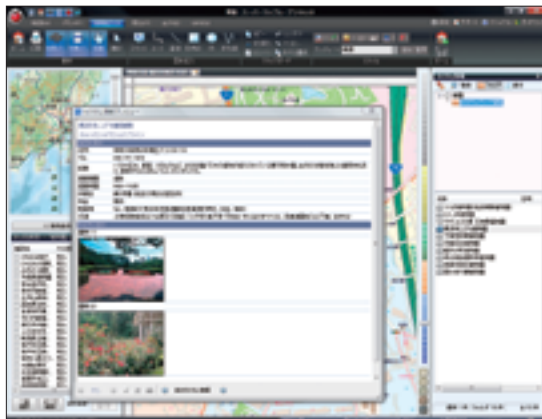
「まっぷる」で検索を行なった場合は目的の場所の地図を表示させるだけでなく、MAPPLE観光ガイドの情報をカスタム情報としてスーパーマップル・デジタルに取り込むことができます。情報を取り込みたい施設名にチェックを入れ、右下にある「ダウンロード」をクリックしましょう。複数にチェックを入れれば、一度に最大50件まで同時に取り込むことが可能です。ダウンロードが完了すると地図に施設名が見やすく記入されます。

※ダウンロードするときはインターネットに接続する必要があります。

4 カスタム情報を確認する



取り込んだ情報は、[プラン]タブや[情報記入]タブで表示できる作業バーにある「MAPPLEガイド情報」のフォルダに収録されます。そこで施設名をダブルクリックすれば、これまでに取り込んだ施設の場所の地図をすくに表示させることができます。また、地図上の施設名をクリックすると、その施設の各種データを掲載したカスタム情報プレビューが開かれます。



Point 最新の情報を取得するには

まっぷるコードのアップデートを行なわないと最新のまっぷるガイド情報を取得できません。うまく情報を取り込めない場合は [マップル] ボタンをクリックし、マップルメニューの「アップデート」を実行してみましょう。

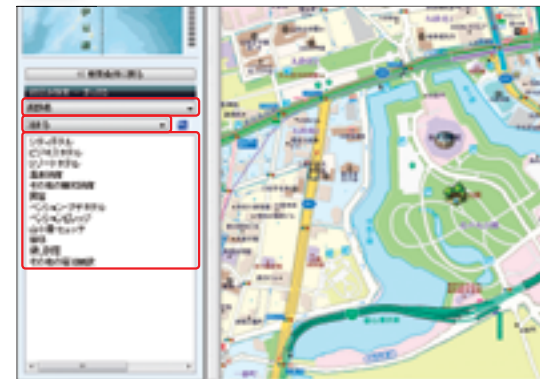
まっぷるリストを利用して検索する

1 検索バーの「まっぷる」をクリックする



インターネットに接続していることを確認し、検索バーの「リストから絞り込んで検索する」の下にある「まっぷる」を選んでクリックします。

2 施設の分類を選択する



地域を絞りたいときは、あらかじめ都道府県を指定します。そして、「見る」「遊ぶ」「食べる」といった大分類から該当するものを選択し、さらに小分類まで絞り込んでいきましょう。たとえば「見る」の大分類の中には、「博物館」「動物園」などの小分類が用意されています。

3 検索結果から目的の施設を選択する



小分類までの選択を終えたら、該当する施設が一覧表示されます。目的の施設を選択して地図を表示させましょう。また、この段階で都道府県の指定を変更した場合、分類の選択はそのまま適用され、検索結果だけが変更されます。

4 施設を選択して「ダウンロード」をクリックする



「まっぷる」から検索を行なった場合は目的の場所の地図を表示させるだけでなく、MAPPLE観光ガイドの情報をカスタム情報としてスーパーマップル・デジタルに取り込むことができます。情報を取り込みたい施設名にチェックを入れ、右下にある「ダウンロード」をクリックしましょう。複数にチェックを入れれば、一度に最大50件まで同時に取り込むことが可能です。ダウンロードが完了すると地図に施設名が見やすく記入されます。

※ダウンロードするときはインターネットに接続する必要があります。

5 カスタム情報を確認する



取り込んだ情報は、[プラン]タブや[情報記入]タブで表示できる作業バーにある「MAPPLEガイド情報」のフォルダに収録されます。そこで施設名をダブルクリックすれば、これまでに取り込んだ施設の地図をすぐに表示させることができます。また、地図上の施設名をクリックすると、その施設の各種データを掲載したカスタム情報プレビューを表示できます。



Point

ダウンロードと登録の違い

カスタム情報を作成する手順には、検索バー下部の「ダウンロード」を選択する手順と、検索結果の右クリックメニューから登録する手順（P.70参照）の2種類があります。「ダウンロード」の場合、詳細情報や画像の付属したカスタム情報が生成されます。登録する場合は、Webページ（MAPPLE観光ガイド）へのリンク情報だけを付属したカスタム情報が生成されます。なお、詳細情報や画像が付属していればカスタム情報印刷（P.96参照）を利用できます。

2-6

目的地周辺の情報を探す



目的の場所を探したあと、周辺の飲食店や宿泊施設を知りたいときは、その場所の地図を表示したまま周辺情報検索を利用します。昭文社が提供する「MAPPLE観光ガイド」からデータ

を取得することもできるので、常に最新情報を入手できます。観光の計画を立てるときなどは、目的地だけではなく周辺情報もセットで探しておきましょう。

1 画面中心位置からの周辺距離を選択する



地図の中心位置から、どこまでの範囲を検索対象にするか指定します。検索バーの「画面中心位置の周辺情報を検索する」の下にある距離ボックスで、0.5km、1km、2km、5kmの4種類から選択することができます。





Point

位置を指定した検索も可能

地図上を右クリックし、「周辺検索」→「目標物」または「まっぷる」を選択した場合でも周辺検索を行なうことができます。

2 「まっぷる」もしくは「目標物」をクリックする



距離を指定したら、その下にある「まっぷる」と「目標物」のどちらかをクリックして検索を開始します。地図上を右クリックしてからのメニューでも検索できます。「まっぷる」の場合はインターネットに接続し、MAPPLE観光ガイド（昭文社が提供する観光&旅行情報サイト）から、最新のレジャー情報を取得・表示することができます。「目標物」では、スーパーマップル・デジタル10に登録されている検索データをベースに情報を探します。検索後は地図に距離ごとの円が描かれ、検索結果は「まっぷる」が、「目標物」がで表示されます。

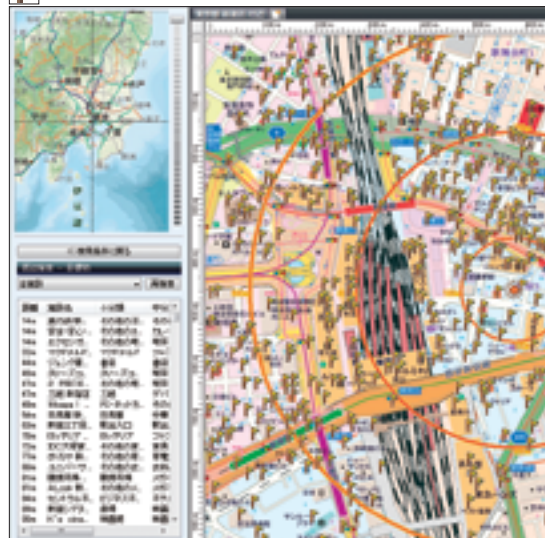
3 検索結果から目的の施設を選択する

🍏 「まっぷる」検索の場合



昭文社の「MAPPLE観光ガイド」で掲載されている全国のレジャー情報が取得され、検索結果の一覧に並びます。地図上のアイコンにマウスカーソルを合わせると施設の名称が表示されます。

🚩 「目標物」検索の場合



検索結果の一覧には、施設名のほか小分類・中分類・大分類、住所が表示されます。目的の施設を選択して、その施設を中心とした地図を表示しましょう。地図上のアイコンにマウスカーソルを合わせると施設の名称が表示されます。

4 地図上の施設をクリックして情報を確認する

🍏 をクリック



まっぷるのアイコンで表示された施設をクリックするとカスタム情報プレビューが表示され、画像や詳細情報が表示されます。リスト検索・キーワード検索と同じように検索結果から目的の施設を選択し、カスタム情報として一括で情報をダウンロードすることもできます。

🚩 をクリック



旗のアイコンで表示された施設をクリックすると、周辺情報プレビューを見ることができます。また、検索結果で選択した施設だけでなく、旗のアイコンがある施設はすべて周辺情報プレビューに対応しています。

1

2

3

4

5

6

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

基本機能を使う

検索結果を活用

1 中心地からのルートを作成する



■や■のアイコンがある各施設は、周辺情報検索時に中心位置となった場所からの最短ルートを、地図上に記入することができます。検索結果のリストから目的の施設を選択後、右クリックでメニューの「周辺検索中心からのルート作成」を選択します。

2 カスタム情報に登録する



検索された施設をカスタム情報に登録しておけば、検索結果をクリアしても目印を残すことができます。検索結果のリストから目的の施設を選択後、右クリックでメニューの「カスタム情報に登録」を選択しましょう。すると、施設名が見やすく記入されるので便利です。

カスタム情報については、P.79からのセクションで詳しく解説します。「ダウンロード」との違いについてはP.66を参照してください。



3 路線を検索する



施設の小分類が鉄道路線の場合は、検索結果から施設を選択して右クリックするとメニューの「路線検索」が可能になります。ここでは、選択した施設を連携する路線検索ソフトの出発駅、または到着駅として登録することができます。登録後、検索を開始するときは「路線検索の実行」をクリックしましょう。



4 プランに登録する



検索結果を表示後、[プラン] タブをクリックしてプランニングメニュー（作業バー）を表示させます。すると、検索結果から施設を選択後、右クリックしたときにメニューの「プラン（出発地・目的地）」に登録が可能になります。最初に選択した施設がプランニングポイントの出発地となり、以降はすべて目的地として登録されますが、出発地と目的地は登録後に入れ替えることもできます（P.100参照）。

2-7 地図を印刷する



スーパーマップル・デジタルでは専用の印刷プログラムを使用しているため、きれいな地図が出力されます。ここでは基本的な地図印刷の方法を紹介します。地図上にカスタム情報がある

場合、カスタム情報も反映された上で出力されます。印刷を使いこなすことで、ガイドマップやプレゼンテーション用の資料を簡単に作れるようになるでしょう。

1 地図を表示中に [印刷] ボタンをクリックする



基本的な地図の印刷をします。印刷したい地図を表示中に、[基本] グループの [印刷] ボタンもしくは [マップル] ボタン→ [印刷] をクリックしましょう。

2 「地図を印刷する」をクリックする

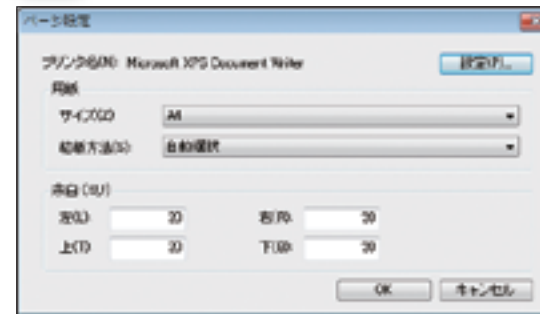


印刷ウィザード画面が表示されたら印刷の種類を選択します。ここでは、一番左の「地図を印刷する」をクリックして先へ進みます。カスタム情報に関する印刷についてはP.96を、プランに関する印刷についてはP.110を参照してください。



次に地図の印刷ダイアログが表示されます。左側に地図のサムネイル（簡略した表示）画像が、右側に各種の設定があります。なお地図のサムネイルは、実際に印刷される地図とは大きさが若干異なります。

3 ページを設定する



印刷に使用する用紙、印刷の向き、余白に関する設定を行ないます。まず、地図の印刷ダイアログの「ページ設定」をクリックしてページ設定ダイアログを表示します。ダイアログが表示されたら、使用するプリンタ、用紙サイズ、給紙方法、用紙の余白サイズを設定します。余白サイズはミリ単位で指定できます。余白設定を「0」にすると、印刷タイトルなどを印刷できなくなるので注意してください。

4 印刷範囲を調整する



画面左側で地図の位置調整や拡大・縮小を行ない、印刷する地図の範囲を決めます。その際、「位置固定」ボタンが解除されていることを確認しておきましょう。地図は、周囲にある上下左右のボタン、もしくは地図上でマウスをドラッグすることで移動させることができます。また、拡大・縮小を行なうときは2種類の「ズーム」ボタンをクリックします。
 ボタンで元に戻すことができます。



Point

印刷画面での拡大・縮小

ズームボタンを使うことで印刷する際の縮尺を調整できます。通常は詳細図を1:8,000までしか縮小できませんが、この機能を使うことで1:10,000で印刷することもできます。但し、地図印刷画面での調整は見た目を考慮したものではないの

で、文字が大きくなったり小さくなったりしてしまう場合があります。縮尺を大幅に変更したいときは、印刷画面を一度閉じて実際の地図の縮尺を変更するとよいでしょう。

5 印刷項目を設定する



地図の印刷ダイアログにある「印刷項目の設定」で、印刷に反映する情報を設定します。タイトル、緯度経度、縮尺、マーカー、グラフ凡例の5項目があり、チェックを入れた項目はすべて反映されます。

■タイトル



タイトルと印刷の有無を設定します。タイトルは最寄住所名などを選択することも、直接記入することもできます。

■縮尺



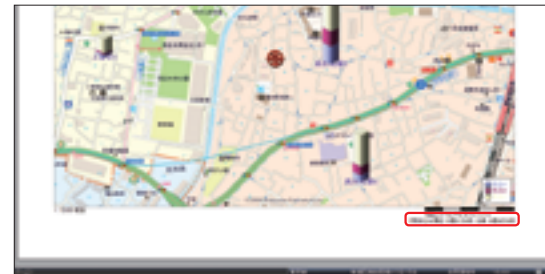
縮尺情報の印刷の有無を設定します。

■グラフ凡例



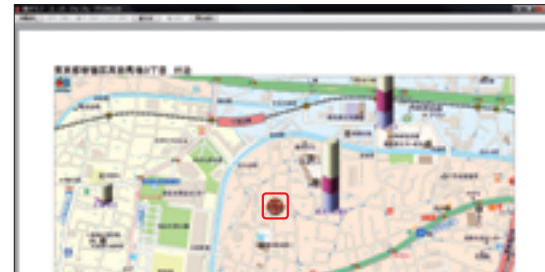
地図にグラフが表示されているとき、チェックを入れるとグラフの凡例が地図右下に印刷されます。

■緯度経度



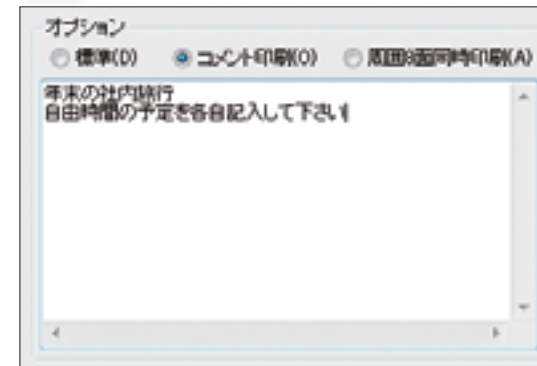
緯度・経度情報の印刷の有無を設定します。印刷する緯度・経度は「地図の中心」と「地図の4隅」から選択できます。

■マーカー



マーカーの印刷の有無を設定します。地図上でマーカーが表示されていない場合は、チェックを入れても印刷されません。

6 印刷オプションを設定する



地図の印刷ダイアログにある「オプション」で印刷のオプションを設定します。標準、コメント印刷、周囲8面同時印刷の3項目から、いずれか1項目にチェックを入れます。

■標準



標準的な地図印刷です。

■コメント



地図と一緒に簡単なコメントを印刷したり、印刷後に活用できるメモ欄を印刷します。

■周囲8面同時印刷



現在印刷する地図に加えて周囲8面を印刷します。印刷された地図をつなぎ合わせれば、より大きな地図として利用できます。



Point コメントの位置

コメントは縦方向印刷では地図の下に、横方向印刷では地図の右側に固定配置されます。配置を変更することはできません。

7 印刷プレビューを確認する



印刷設定の完了後は、印刷に入るまえに印刷レイアウトが正しく表示されるか印刷プレビューを確認するといいでしょう。地図の収録範囲により地図が印刷されない場合もあるので、注意が必要です。

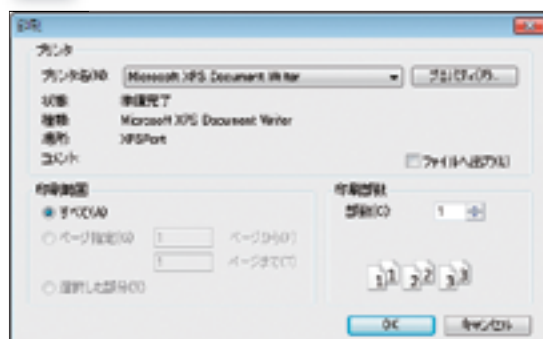


Point

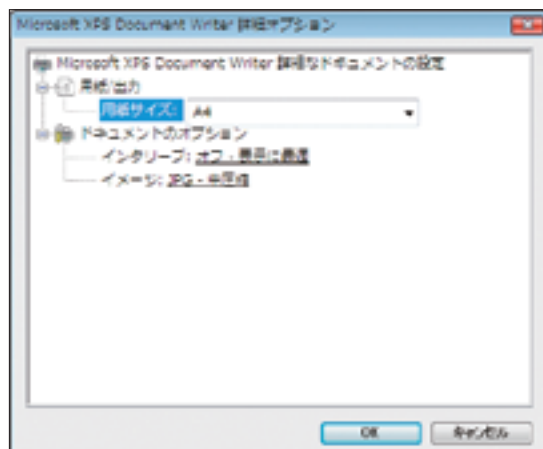
情報量を減らして印刷する

地図上の情報量を減らしたい場合、オリジナルの印刷用地図スタイルを作成し、その上で印刷してみましょう。

8 地図の印刷を開始する



印刷プレビューで正しく印刷されるか確認後、画面左上の「印刷」をクリックします。するとプリンタの設定ダイアログが表示されるので、プリンタ側の印刷設定を確認してから印刷を実行しましょう。設定の内容は接続されているプリンタの機種によって異なります。



Point

ロゴを消しての印刷は不可

画面左上に印刷されるMAPPLEロゴと画面下側に印刷されるコピーライトは、スーパーマッフル・デジタルの使用許諾契約書にあるように消して印刷することはできません。